

6月市議会でえんど久子市議一般質問

安心して子どもを生み育てられる別府市に

保育所さらに充実を

6月市議会一般質問で、猿渡（えんど）久子市議は保育所や児童館など、子育ての問題で質問しました。えんど久子市議は、議員になる前は、保育士として18年間保育の現場で働いていました。

市が保育に責任をもつて

えんど久子市議は、まず「国の子ども・子育て関連3法の改正にともない、児童福祉法に市の保育実施責任が残った意義は大きい。保育関係者の声に押されたものだ」と述べ、「市はどのような方向性で計画を作ろうとしているのか。市が保育に責任を持って保育行政をすすめてもらいたい」と求めました。



シャジンの仲間

児童家庭課長は「これから実施するニーズ調査を十分に分析し、市の子ども子育て会議の意見を仰ぎながら、別府市に見合った計画を作成しようと考えている」と答弁。

認可保育所の定員増を

「安倍首相は、待機児童解消に向け横浜方式を全国にと言っているが、民間企業参入ではなく、現在の認可保育所の中で対応を考えるべきで、計画に認可保育所の定員増の目標を盛り込むべきだ」とえんど市議。

課長は「基本的には現在の認可保育所に対応していきたい。子ども子育て会議で慎重に協議したい」と答弁しました。

24時間保育の必要性

また、えんど久子市議は「別府市では24時間保育は認可外保育所が献身的努力で担っている。観光や病院・介護の仕事も24時間だが、認可外に頼るばかりでいいのか。24時間保育の役割をどう認識しているのか。24時間保育の必要性についても計画策定の際に考慮してもらいたい」と主張。これに対し「保護者のニーズが多岐にわたる中、24時間保育を実施している認可外保育園の役割は大きい。今後ニーズを把握していきたい」との答弁でした。

ご意見・要望などお寄せください。相談事などもお気軽にどうぞ。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
Tel.0977-22-6576

No.568
2013.8.20.

猿渡（えんど）久子市議 市議会で求める

児童館を中部地域にも



西部児童館・子育て支援センターべるね・鶴見保育所が併設されている子育て支援拠点施設ほっぺパーク。（2005年4月オープン）

えんど久子市議は、議員になる前から多くの方と一緒に児童館の設立を求めて署名活動に取り組んできました。1996年7月に別府市で初めての児童館が南部に実現。その後、議員になり一貫して子育て支援の充実に努力。現在は、児童館4ヶ所、支援センター6ヶ所となりました。

えんど久子市議は、6月市議会で「児童館・子育て支援センターを中部地域にとり市長公約はどうなっているのか。26年度までに増設と計画にもある」と早い時期の実現を求めました。

「場所の選定を行っているが、なかなか適地がない」と答弁。えんど市議は「別府の跡地なども今後検討できないのか」と提起しました。世論をひろげて実現させましょう。

身近な公共事業のバリアフリーを

別府市では障がい者への身近な公共事業のバリアフリーをすすめるうと、えんど久子市議は6月市議会で質問。

デコボコ道路改善を

「別府の道路はデコボコでつぎはぎが目立ち、高齢者などには危ない。水道管やガス管などの工事の際の指導やチェックはどうなっているのか」と質問。「完成後のチェックは件数が多く人員配置等により全ての現場確認はできていないのが現実」と答弁。改善を求め、部長より「OBの配置に向け協議し努力する」との答弁でした。

障がい児のために

障がいを持つ子どもさんのため、えんど市議は学校のバリアフリーについても質問しました。学校のエレベーター設置は障がい児のためのもので、健全な子どもさんは階段を利用します。